

和水町農業委員会による

耕作放棄地除草作戦

こんな解消もあります

※草刈を牛にまかせて(水田放牧の事例)

平成18年度から、久井原吹野地区の水田1.7haで生産牛の放牧を実施されています。

当地は、以前から水稻の作付をされていたが、用水の不足や湿田により、水稻の作付けが減り、管理水田として維持管理されていただけで、地権者としては草刈りや耕運作業で苦勞の連続でした。

そこで、同地区の畜産農家が地権者との間で、利用供給協定(10年間)を行い、現在4頭を放牧させています。

牛は、電気柵に囲まれ口が届く



範囲にはほとんど草はなく、悪臭や水質汚染など環境に気遣うところもあるが、苦情などはないと聞かれています。

畜産農家も田の草を食べるため、餌やりや畜舎が要らず管理作業の軽減につながっています。

放牧がなければ、遊休地から原野になるおそれもありましたが、放牧のおかげで土地の有効利用が図れ、両者とも感謝されています。

林業での労働災害が多発しています!

山で木を伐採される方へのお願いです。今年に入って、熊本県各地で自分の山の間伐やクヌギの伐採作業中の死亡事故が多発しています。次のことを守って安全に作業を行いましょう。

作業を始める前に確認!

- 1人ではなくなるべく2人以上で作業に行きましょう。
- 作業を始める前には服装や道具を調べて、その日の体調をチェックしましょう。

木を伐採する前に確認!

- 伐採する時は木の高さの1.5倍の範囲に人がいないか確認しましょう。
- 伐倒する時は合図をしましょう。
- かかり木が発生した時は特に要注意。かかっている木の伐採や投げ倒し、枝切り、元玉切りは厳禁です。
- 専門の道具やウインチを使うなど、安全な方法を選んで作業を行いましょう。
- 立木の根元直径が40cmを超えるものは、専門業者に依頼するなど無理をしないことです。



問い合わせ先 本庁 経済課(内線555)



肥後民家村



百年後のアンティーク



都

会での生活と将来に疑問と不安を感じて田舎に生きがいをも求め、田舎暮らしを始める人が増えています。肥後民家村の中にある木工館で働く木工職人の小野さんもその一人です。

30歳でサラリーマンから家具職人に転職され、木工にふさわしい環境を探し求めて、この地で生活することを決められました。

「雑誌に肥後民家村の職人募集の記事を偶然見つけたのがきっかけです」と、当時を思い出しながら語られました。

「工業製品は10年程で寿命になります。家具は使えば使うほど趣が増します。長く使うためには良い家具をつくらなければなりません。釘を使わず木と木を組み合わせでつくる家具は、手間がかかりますが一生使うことができます。大量生産、大量消費の社会からひとつのものを長く使うという方向に世の中の流れは変わると思いますし、また変わらなければいけないと思っています。肥後民家村は、自然に囲まれアイデアが湧いてくるともよい環境です。今では、この地以上にこの地の人が好きになっています」。



木工館 木工職人

小野 弥さん

また、肥後民家村には、村内の職人の方たちで組織する「肥後民家村工房の森」があります。小野さんは、その代表でもあります。この工房の森では、肥後民家村の四季を体感できるさまざまなイベントを行っています。「私が肥後民家村に魅力を感じたように、さまざまな体験を通じてみなさんにも肥後民家村の魅力を感じて欲しいです」木の香りの満ちた木工館には木のぬくもりと小野さんの熱意が満ち溢れています。

木工館では、リトルチェア、CDラック、はにわの形をしたカスターネットの木工の教室があります。若いカップルや親子での体験が多いそうです。

木工教室

誰でも簡単に作ることができます(要予約)。

○リトルチェア

料金5,000円 所要時間1日

○CDラック

料金3,000円 所要時間半日

○カスターネット

料金1,000円 所要時間1〜2時間

問い合わせ先

☎090-1407-9479(小野まで)

肥後民家村 木工館

<http://www.5d.biglobe.ne.jp/~kikusui/>

小野さんのブログもお楽しみください。